



進化し続ける“まちづくり”地域総合力 で 元気再生

遠野市・郵便局との連携実績と これからの展望 ＜追加資料＞

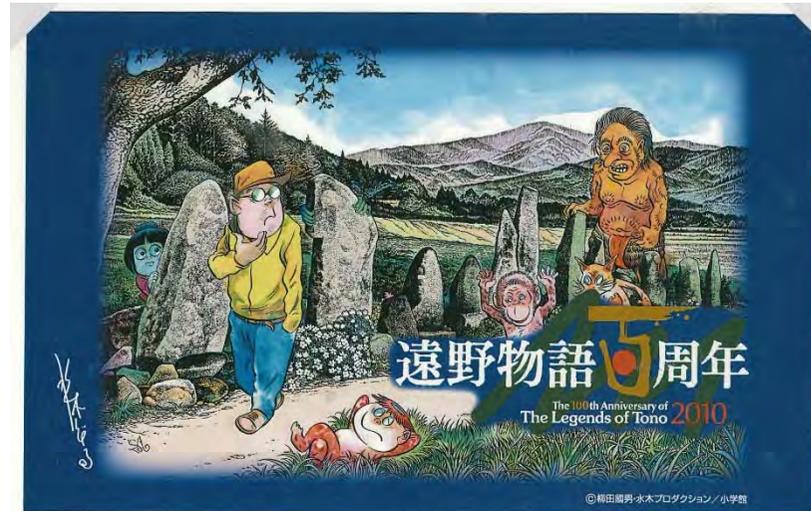
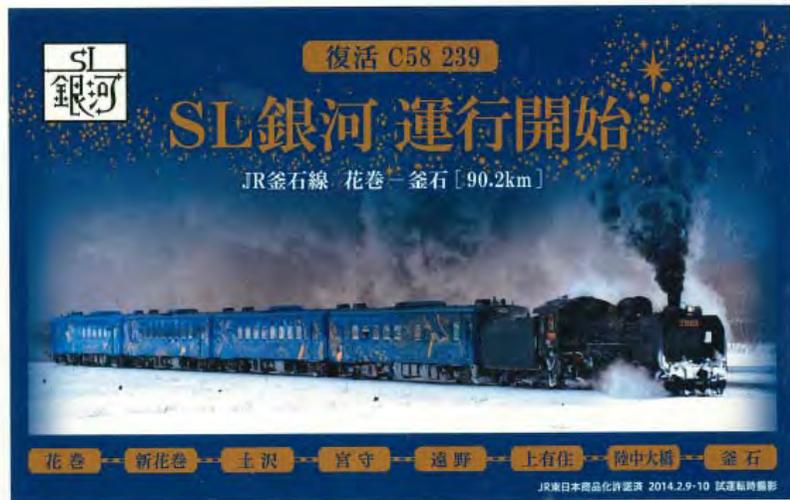
平成30年4月16日
総務省情報通信審議会 ヒアリング資料

岩手県遠野市



1 オリジナルフレーム切手

<見本>



① 切手は写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
 写真部分以外では、切手としてご利用いただけません。
 郵便料金納付の切手は、この切手もご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

○ 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
 ○ 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

2

郵便局員の地域参画



- 遠野市緑化祭「里山フェスタ」への社員・家族の参加（毎年30～40名）



- 遠野じんぎすかんマラソン大会運営ボランティアとして参加（約100名）





3

移住定住対策

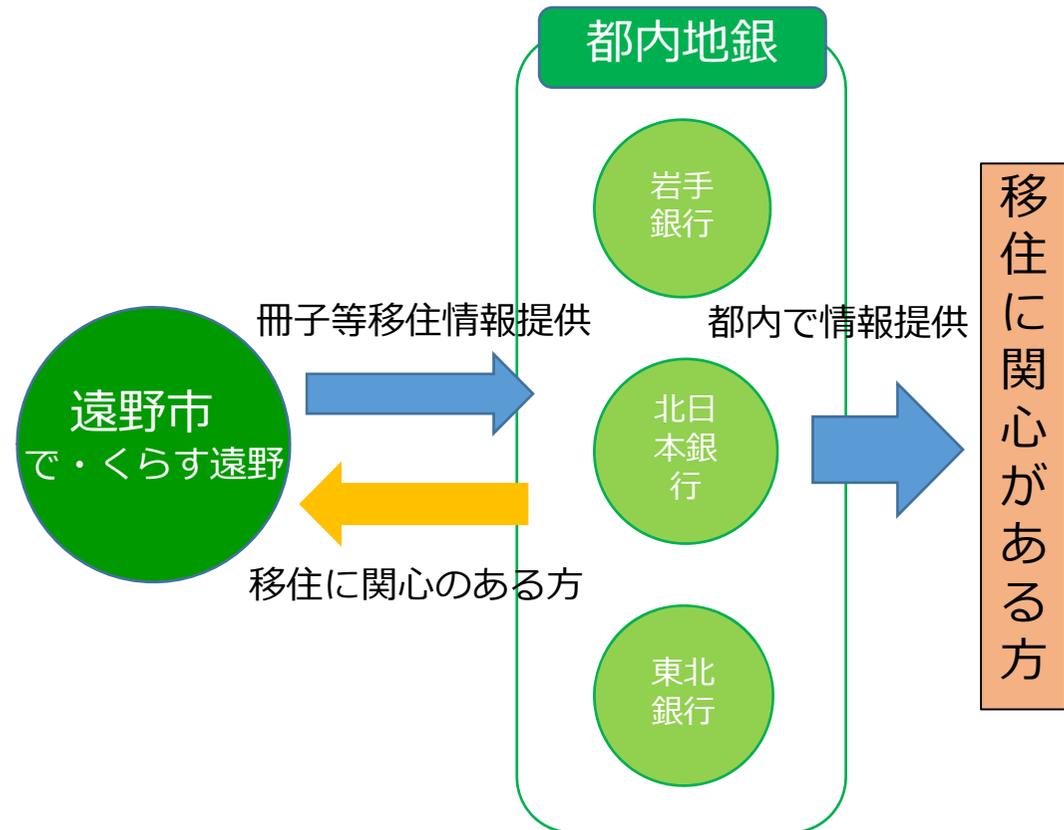
日本経済新聞 平成30年4月10日（火）

遠野市への移住相談
都内営業拠点に窓口

岩手県に本店を構える地銀3行は4月下旬、同県遠野市が市内への移住や定住を促す組織「で・くらす遠野」の相談窓口を、各行の東京の営業拠点に開設する。市と各行が結んだ地方創生に関する連携協定に基づいた活動の一環。市が2016年の移住促進窓口を銀行の営業店に置くのは初めてのこと。

設置するのは岩手銀行、東京営業部（東京・中央）、京・千代田）で、窓口には東北銀行東京支店（同）、車上のぼり旗や遠野を紹介する冊子を置く。移住に関心のある人が訪れた場合、行員が対応して「で・くらす遠野」に取り次ぐ。その後は「で・くらす遠野」がより取りをすすめる。北日本銀行は「移住を後押しし、地域の活性化につなげたい」としている。遠野市は2006年、移住・定住のワンストップ窓口として「で・くらす遠野」を立ち上げ、PUIターンの受け入れを積極的に進めている。市担当者は「東京にある銀行支店に窓口を置くことで、遠野への関心が高まってほしい」と期待している。

○都内地銀窓口で移住情報提供





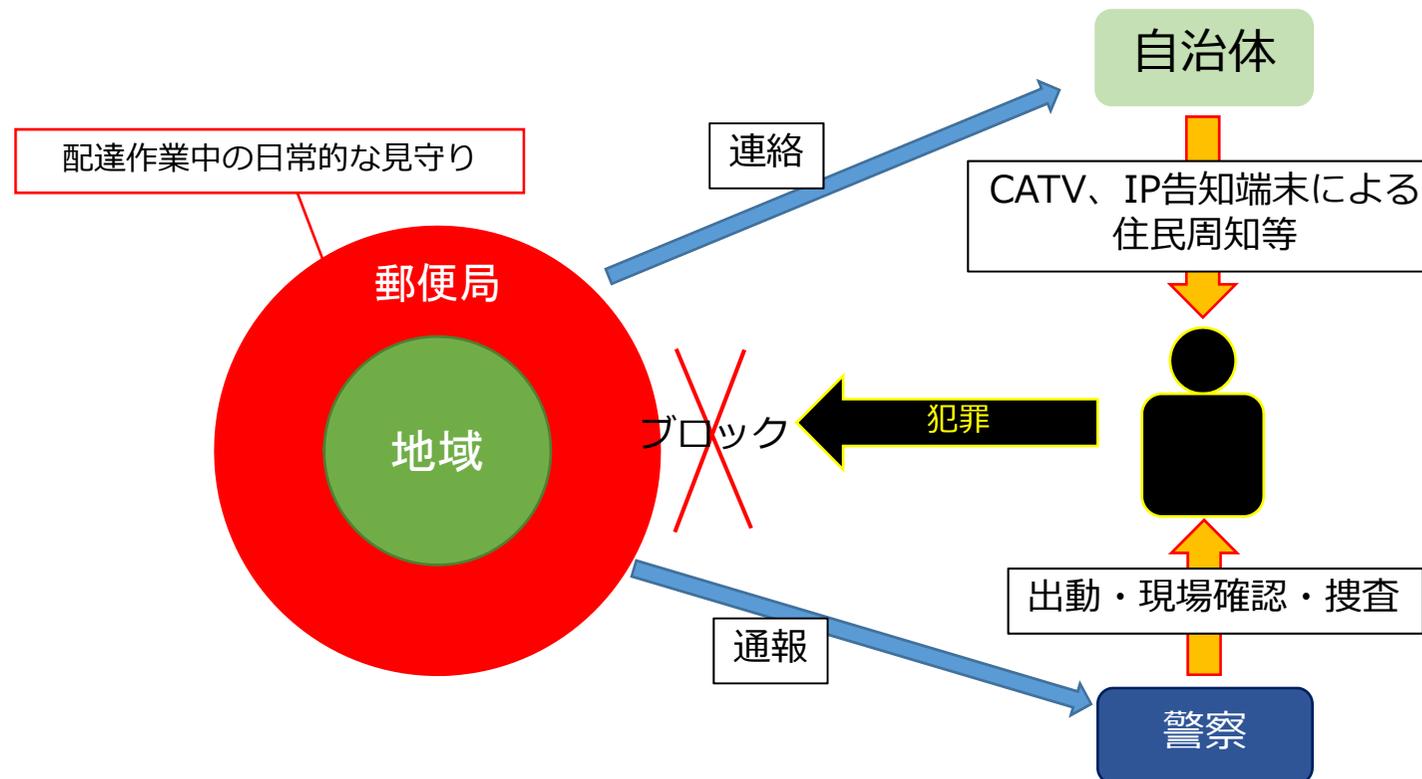
4

自治体、警察、郵便局による防犯強化

現状

・高齢化が進む中、増加する特殊詐欺事件発生等に対し、遠野市の広大な土地（825.97 k m²）を日常的かつ継続的に監視を行うことは困難。

○配達ネットワークを生かした地域全体の防犯強化



○自治体、警察、郵便局による情報共有ネットワークの構築が必要。



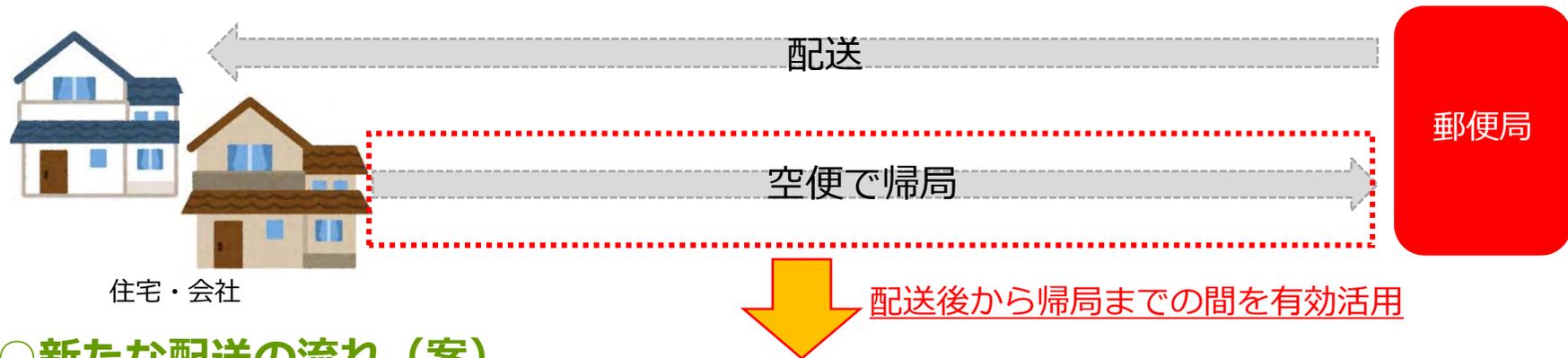
5

農産物の集荷と拠点配送

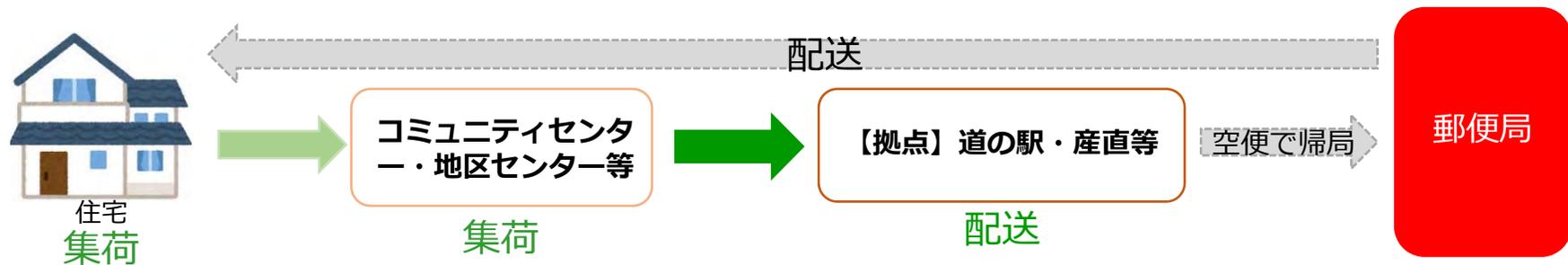
現状

・高齢化に伴い、自動車利用が減少。人口減少で人手不足。
⇒農産物栽培は行うが、拠点に運べる労働力が不足。地域の**魅力損失**。

○従来の配送の流れ



○新たな配送の流れ (案)



効果

・農業振興に密接に関係。物流、労働力不足に効果発揮。
・地域だけではできなかったより生産性の高い地域づくりが可能。